

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	国際関係論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	水3		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	岡 宏						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>(1)国際関係における「紛争と平和」の歴史的方向性を理解し、その重要性を考えられる。(平和とは、どのような状態かを論じることが出来る)</p> <p>(2)国際関係において歴史認識の意味を理解し、その重要性を考え論述できる。 (どうすれば平和に近づくことができるかを考えられる)</p> <p>(3)国際社会と日本を考える過程で外交政策の意味を注意深く探究することができる。</p>						
内容	<p>9月16日 ※【紛争と平和】</p> <p>9月30日</p> <p>10月7日 1回 アイスマン; ~「平和ではない」を考える~</p> <p>10月14日 第2回「思い、感じ、考える」視点の整理</p> <p>10月21日 第3回「バルカンの歴史と現代」~「火薬庫」の意味を歴史に学ぶ~</p> <p>10月28日 第4回「旧ユーゴ内戦」と「国際的情報の流通①」~現代を知る①~</p> <p>11月4日 第5回「旧ユーゴ内戦」と「国際的情報の流通②」~現代を知る②~</p> <p>11月11日 第6回「シリア人道危機」と「国際的情報の流通③」~現代を知る③~</p> <p>11月18日</p> <p>11月25日 ※【人権と人間】</p> <p>12月2日</p> <p>12月9日 第7回「人権概念」~「世界人権宣言」~</p> <p>12月16日 第8回「人権問題」~「平和ではない」諸問題の中心・女性の人権を考える~</p> <p>12月19日 第9回「平和研究ノート」アセスメント~課題学習の点検と展望~</p> <p>1月13日 第10回「人間の安全保障」~馬場伸也に学ぶ①~</p> <p>1月20日 第11回「国際コミュニケーションとアイデンティティ」~馬場伸也に学ぶ②~</p> <p>※【共存共栄に向けた国際関係論と活動】</p>						第
成績評価基準	<p>(1)「平和研究ノート」の作成50%</p> <p>(2)定期試験50%</p>						
授業到達目標の達成度	<p>(1)「国際関係における「紛争と平和」の歴史的方向性を理解し、その重要性を考えられる。(平和とは、どのような状態かを論じることが出来る)」では、概ね達成できた。(2)「国際関係において歴史認識の意味を理解し、その重要性を考え論述できる。」は、歴史認識の重要性を概ね理解できた。(3)「国際社会と日本を考える過程で外交政策の意味を注意深く探究することができる。」は、時間の関係上、課題提示に留め、文明共存の視点から向き合う必要性を示すに終わった。</p>						
反省点	<p>今年度は、パワーポイントを多用した講義をのため、数回を除いて講義内容を整理したハンドアウトの作成を行わなかった。次年度以降は、より理解を深める意味で、スライドの整理、およびハンドアウト作成を考えたい。</p>						
来年度の計画	<p>授業計画は、概ね今年度と同様に進める予定だが、反省点での記述を改善するための補助資料・教材の充実を図り、課題についても、より双方で意見交換行えるように考えてみたい。予習の充実を促したい。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>総合的に見て、特に問題はない。ここ数年、学生の満足度は年々向上している。とてもありがたい傾向である。これに慢心せず、より平易な語彙を用いつつ、さらにクオリティーの高い講義に努めたい。</p>						
履修登録者数	108名	定期試験 受験者数	77名	合格者数	70名	合格率	91%